



### NST ミニレクチャー第73回 ～検査値から見た亜鉛について～



月に1度の栄養の勉強、NST ミニレクチャーのコーナーです。

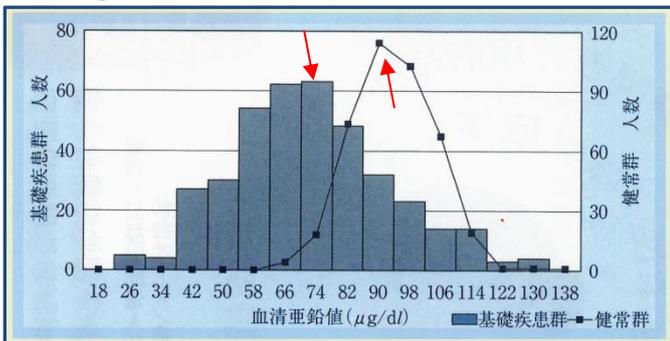
これまでも亜鉛についてのレクチャーはありましたが、今回は ①検査法と基準値、②検査値から見た亜鉛欠乏症、③亜鉛欠乏と COVID-19 重症化について簡単にまとめてみました。

#### 1. 検査法と基準値

検査法	原子吸光分光光度法	比色法
特徴	特殊な装置が必要。 操作が煩雑。	測定物質を着色物質に変換後、可視部波長を照射して吸光度を測定、その色調を基準値と比較して値を求める。 専用の測定試薬を使えば検査室にある自動分析装置で簡単に測定可能。
基準値	血清 80~130 ug/dl 実施料：136 点	

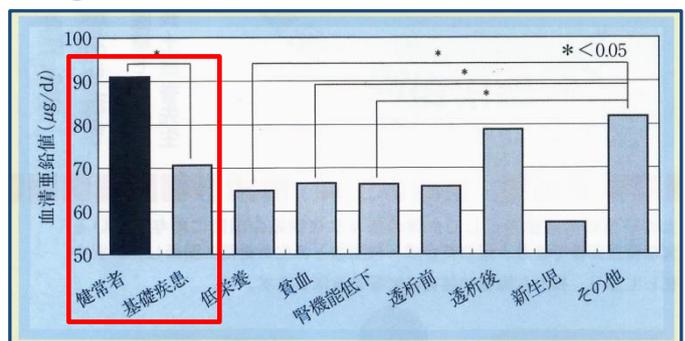
費用対効果を考え  
現在は外部委託  
となっています

#### 2-① 基礎疾患群の影響



(基礎疾患群、健常群における亜鉛値ヒストグラム)

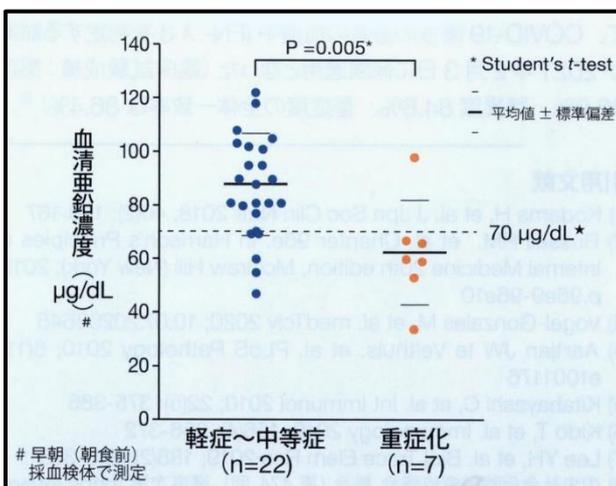
#### 2-② 疾患別血清亜鉛値



(左部：健常群と基礎疾患群の比較) (右部：基礎疾患群の中での特定項目ごとの比較)

参考文献) 半田憲善ほか：亜鉛測定の有用性：医学検査 59(3):179-183,2010

#### 3. COVID-19 患者の重症化と血清亜鉛値



参考文献) Yasui Y, et al. Int J Infect Dis 100(2020) 230-236

#### 2-① 基礎疾患群の影響

健常群 (健康な人間ドック受診者) と基礎疾患群 (入院患者) の比較では、平均値は基礎疾患群で 69.2ug/dl、健常群で 90.1ug/dl となり両者に有意差を認める。

#### 2-② 疾患別血清亜鉛値

基礎疾患群の中で特定の項目に注目してみると、血清亜鉛値がより低値であることがわかる。基礎疾患をもつ患者の多くは、潜在的に亜鉛不足であることが示唆される。

#### 3. COVID-19 患者の重症化と亜鉛値との関連

重症化する患者のほとんどが潜在性もしくは臨床症状を伴う亜鉛欠乏症を示している。ベースラインの血清亜鉛値が低い患者は生存率が低下するといった研究発表も多数ある。

#### 【まとめ】

免疫機能を維持増強するために欠かすことができない栄養素が「亜鉛」です。亜鉛測定を行うことで亜鉛欠乏症の早期発見、予防につなげましょう。